

智利

MT 1146 0346

REEL No. 1-0103

0197

文書課長 長松

明治四拾四年九月拾壹日接受

明治四拾四年九月 五日接受

主務政務局

第三課 第三

機密第二號

秘受第二八〇九號

明治四十四年九月二十九日

在智利

特命全權公使日置益

外務大臣侯爵小村壽太郎殿

再回

明治四拾四年九月 拾貳

秘露大統領密談ノ件

本官先般里馬滯在中大統領ノ教
田ノ内會見ヲ得種々ノ談話ヲ交ヘタリ
右ノ會見ニ依リ全クホク解ケタル談
話ヲ爲スノ機會ヲ得タルニ本官侯爵
トスル慶ナリ抑モ本官力大統領ト差
向ヒテ遠慮ナキ會合ヲ希望シタルニ豫
在智利國日本帝國公使館

第3門

MT

1146 0347

MT

1146 0348

テ日本最負トシテ知ラレタル此人物ハ
何又タ其言動ノ價值等ヲ可成十分
測知セシメテ希望シタルト同時ニ同氏ノ日
本關係ナルモノニ當テ森岡移民會社ノ
手代トシテ秘露ニ派遣セラレタル田中貞吉
依テ爾カレ爾來移民事業ニ關連シテ
今日迄維持セラレ居ルモノナルヲ以テ或ハ
同氏ノ有スル日本知識ナルモノガ或方面
ニ偏局シ又ハ誤解ニ屬スル莫多カラサ
ルヤヲ疑懼シシテ正誤シ擴張セシメテ
希望シタルカ故ナリ大統領一日談話
中突然左ノ問題ヲ提出セリ。
日本ニ秘露ニ對シ何等カ希望ナシ

有セザルヤ

本官、右問題、主意ヲ推度セザル
ニアラザリシモ、之ニ對シテ左ノ如ク反問セ
リ。

貴問簡單ニシテ或ハ十分了解シ得
サルヤヲ恐ル願ク、今テ少シク敷衍説
明アレ

大統領

日本、秘露ニ於テ或是場（*certain footing*）ヲ得ルヲ欲セサ
ルヤ

本官、本問題ニ關スル應答ニ極メ
テ慎重ノ用意ヲ要スルモノト思料セリ

在智利國日本帝國公使館

何トナレバ（一）大統領ノ真意ガ日本
ニ野心ノ有ルヲ探知セントスルニ在ルカ
又タ他ニ意味アルカ判断セス。（二）假
令後正當ノ手順ヲ踏ミ本問題カ適好
ノ進行ヲ為スニ至ルトスルモ政敵ヲ四面
ニ有スル現大統領ノ地位ニテハ事ハ成功ヲ
見ルニ困難ナルヘキ（三）當方面、諸國
ニ於テハ政府ノ行動ニ秘密ヲ保ツニ始メ
ト望ム可キナル處ナリ而ルニ今ヤ日米
關係上米國カ非常ニ神経ヲ過敏ニシ
或ハ墨斯哥ト秘密条約杯ト疑キ居
ル降苟ニモ大統領ト本官トノ間ニ斯ル
談話ノ有リシハ外間ニ漏洩セハ無用ニ世

MT

1146 . 0350

MT

1146 . 0349

間ヲ駭カセ我大局ニ不利ナリト思料シタ
ル1。(四)米國ハ豫テ秘露ノチムボテ港
(Shinkote) (俄家尾ノ北方)ヲ海軍
根據地ニ供スル為メ獲得セント商心シ居
ルヤ、事實モアル所柄特ニ彼レノ猜疑ヲ
惹起スル虞アル1。(五)現大統領ノ
在職期ガ最早僅カニ一年有余ニ過キ
サル1等ノ考慮ヲ有セルガ故ナリ。仍
テ本官ハ直ニ談話ヲ希テ切ラシカトモ
考ヘタレモ此機會ニ於テ今サシ方ノ
意向ヲ探リ置ク1面白カラントノ意ヲ起シ
更ニ左ノ反問ヲ提出セリ。

本問題ハ極メシ重大ニシテ本官ハ公
在智利國日本帝國公使館

此ノ資格ニ於テ何トモ應答スル1出来
ス又タ余リ突進ノ事ニテ私見トシテモ
何等發言ノ用意ナシト云閣下カ
此問題ヲ提起セラル、ニ至リタル本末
ノ趣意何處ニ在ルヤヲ聞クヲ得ヘ
キ乎。

大統領

予迪モ素ヨリ公進ノ資格ニテ談ス
次第ニアラス併シ閣下ノ承知セラル
如ク秘露ニ目下對外國係上非常
ニ困難ノ地位ニ立チ常ニ近隣諸國ノ
迫害ヲ蒙リ何日何時危機爆發
スルヤモ知ラレス極メシ不安ノ地位ニ在

MT 1146 . 0351

MT 1146 . 0352

其根源ハト云ヘバ秘智ノ關係ニ在リ
此兩國ノ關係ニ第三國ノ援助ニ依ラズ
シテ到底解決ノ見込ナシ故ニ日本ニ
シテ此事件ニ關シ秘露ニ有効ナル
援助 (Effective Support) ヲ與フルニ
於テハ秘露ニ喜ンテ報酬ヲ提供ス
可シ

本官之ニ對シ

貴意ノ次第了解セリ唯先刻申
上ケタル通り事重大ニシテ本官之ニ
應答スルハ能ハサルヲ遺憾トス我國
現下ノ形勢ヲ見ルニ朝鮮滿洲問題
ヨリ清露等接壤國トノ關係モ極メ

在智利日本公使館

テ繁雜ニシテ東洋ニ於ケル事件實ニ
多々ナルヲ以テ政府ニ於テモ未タ南
米ニ關シ十分ノ研究ヲ爲シ居ラサル
一ナル可ク從テ本問題ノ如キ重大事
件ニ之ヲ政府ニ提出スルモ直ニ相
當ノ考慮ヲ與フル地位ニ在ルヤ否ヤ
本官竊ニ疑ナキ能ハサル處ナリ。

大統領

閣下ノ用心ニ尤モナリ強ヒテ貴見
ヲ求ムルヲ爲サハル可シ但閣下カ本
問題ヲ寫ト研究シ本國政府ハ上申
セラレシヲ希望ス

本官

MT

1146 . 0354

MT

1146 . 0353

貴意了承セリ本官ハ適當機會
ニ於テ貴意ノ次第ヲ本國政府ニ通
報スルヲ怠ラサル可シ唯本問題今
後ノ成行如何ハ拘ラス閣下カ貴我
兩國經濟上ノ關係ヲ倍ニ親密ナラ
シメンコト閣下カ豫メ抱有セラル我
對スル特別ナル好意ニ依リ一層ノ中
盡力ヲ世ヘイレンコト希望シ此序ニ
述フルヲ許サレヨ。

右ニテ談話ヲ結ヒタルガ其後會見ノ節
大統領ニ本官ニ向テ過日談話ノ件ヲ
本國政府ニ上申セリト問ハレタルニツキ
本官ハ之ニ對シ今ヤ折角研究中ナル
モ事極メテ慎重ノ取扱ヲ要スルヲ以テ或ハ
書面等ヲ以テ通報スルノ不十分ナルヲ感
ス免ニ角本年未頃ニハ一旦帰朝ノ許
可ヲ得ハタト期待スルニツキ其節親シク
上申スルヲ得策ト思考スト逃ケ置キタ
リ。

在智利國日本帝國公使館

卑見ニシハ本問題ノ如キハ到底輕率
ニ取合フ可キコトアラストスルモ一應前条
及具報候条若シ之ニ固執シ何等中
訓示ノ次第モ候ハハ早速ハ通達有之
度而シテ豫メ提出シアル帰朝願幸ニ
認許ヲ得バ帰途里馬ニ立寄リ親ク
大統領ニ會談スルヲ得ハタト存候

MT 1146 - 0356

MT 1146 - 0355

右及具報信也敬具

在智利國日本帝國公使館

MT

1146 . 0357

REEL No. 1-0103

0204